

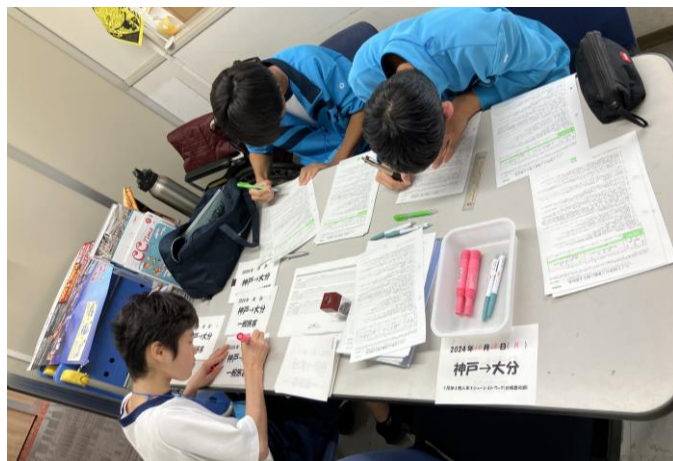
2024年11月14日

地域に学ぶ体験活動「令和6年度トライやる・ウィーク」で
神戸市立向洋中学校の生徒3名を受け入れ
～フェリーの職業体験を通じて、人の活躍と地域社会の発展に貢献～

株式会社商船三井さんふらわあ(社長:牛奥 博俊、本社:東京都千代田区、以下「当社」)は、兵庫県教育委員会が推進する地域に学ぶ体験活動「令和6年度トライやる・ウィーク(註)」(以下、「本活動」)で2024年10月28日(月)～11月1日(金)の5日間にわたり、当社フェリーの発着地である六甲アイランドに位置する神戸市立向洋中学校の生徒3名を受け入れました。



生徒3名に対し職業体験として、当社が運航する船舶「さんふらわあ ごーど・ぱーる」の船内で当社乗組員の指導のもと、操舵室・機関室等の見学および旅客サービスの営業準備を行い、また神戸港ターミナルで当社スタッフの指導のもと、ターミナル・ヤードの見学および旅客・物流向けの窓口書類の準備等を行いました。



当社は、例年本活動に賛同し、来年以降も継続して学生の受け入れを行う予定です。

当社は、地域社会の持続的な発展に貢献するため、継続して主に当社運航船舶の発着地域と積極的に連携を行うとともに、海運業の意義や役割を理解し親しみをってもらうため、教育支援活動に積極的に関わり、今後もより多くの若い世代に海運業の重要性や魅力・やりがい等を紹介する活動を続けていきます。

(註) [地域に学ぶ中学生・体験活動週間「トライやる・ウィーク」:文部科学省](#)

商船三井グループが設定した5つの[サステナビリティ課題](#)

商船三井グループでは、グループビジョンの実現を通じて社会と共に持続的な発展を目指すための重要課題として「サステナビリティ課題(マテリアリティ)」を特定しています。本件は、5つのサステナビリティ課題の中でも特に「Human & Community-人の活躍と地域社会の発展-」にあたる取り組みです。

